

第1回 松島町長期総合計画策定検討庁内委員会

摘 録

■開催日時 平成26年6月5日（木）
10時00分～11時30分

■場 所 松島町庁舎 3階 大会議室

■出席者

委員：亀井純委員長、千葉繁雄副委員長、福田光輝委員、蜂谷文也委員、田瀬高広委員、櫻井和也委員、齊藤恵美子委員、長田大知委員、佐藤綾委員、梁川秀幸委員、鈴木えり子委員、高成誠一委員、松谷倫明委員、高橋浩司委員、熊谷賢委員

欠席者：安土哲委員、相澤光治委員、赤間香澄委員

事務局：松村企画調整課まちづくり支援班主査、石田主事、針生主事
中央コンサルタンツ(株)

■次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題 ①松島長期総合計画について……………【資料1】
②松島町長期総合計画策定検討庁内委員会について…【資料1】
③松島町国土利用計画について……………【資料2】
④庁内委員会の詳細及び今後の進め方について……………【資料3】
- 4 閉会



■庁内委員会の開催状況

■議事要旨

1 開会

- ・開会 （事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

- ・私は13年前に長期総合計画を作成した担当者であったが、今回は縁があり、再び携わらせていただく。私の役場での最後の大事な仕事が今回の長期総合計画策定だと思っている。ゴールは平成27年度末までに策定することである。
- ・役場でのこれまでの経験から言うと、このような横断的組織が実のあるものだったということはほとんど無く、復興プロジェクトぐらいだと思う。自分の仕事が忙しく、会議に出席することが難しくなってくる。しかしこの会議に関してはそうはいかない。毎回しっかり出席していただきたいと思う。なるべく日程を固定して月一で行っていきたい。皆さんに色々な事をお願いするとともに、意見を聞きたいのでしっかり心得てほしい。
- ・この委員会に携わったことで、総合計画の作成の苦労が分かるとともに、自分が成長できると思うので、頑張っていたきたい。

3 議題

(1) 説明事項

- ・資料1の説明 （事務局）

「①松島長期総合計画」、「②松島町長期総合計画策定検討庁内委員会」について

- ・資料2の説明 （事務局）

「③松島町国土利用計画」について

（委員長）

- ・聞き逃した方がいたら、説明原稿を準備しているので言ってほしい。
- ・資料3については、今回の業務を委託している中央コンサルタンツ㈱の方から説明をお願いしたい。

【中央コンサルタンツ㈱出席者の自己紹介】

- ・資料3の説明 （事務局）

「④庁内委員会の詳細及び今後の進め方」について

(委員長)

- ・今回、町民等に幅広く意見を伺う趣旨は、総合計画を作るうえでの常識となっている「協働と参画」が、松島ではまだまだ浸透していないので定常化させていくためである。今回は、様々な委員会・審議会のほかに若手職員を対象としたプロジェクト会議も実施する。アンケートについても、全世帯アンケートのほかに、新たに Web アンケート、フェイスブック、シンポジウム、パブコメを行って幅広く意見を集めることを認識しておいてほしい。今後はこういったことを質問するのか等のテーマについても話し合うことになる。
- ・私の方から質問させていただく。若手プロジェクト会議には何歳くらいの方が参加するのか。

(事務局)

- ・イメージとしては、入庁後 3～5 年くらいの方と考えている。

(2) 質疑応答

(委員長)

- ・今回は、長期総合計画・国土利用計画とは何か、スケジュール確認、メンバー確認を行うことが主目的になっている。
- ・資料説明等について、質問がある方はどうぞ。

(委員)

- ・今後検討していく長期総合計画は第三次に続く第四次的な位置づけなのか、それとも全く新たに作っていくものなのか。
- ・子育ての支援事業計画を作っているが、この会議で出していったほうがいいのか、又は担当課どうして話をすればいいのか。

(委員長)

- ・一次、二次、三次は基本計画のことで、基本計画は一度リセットになる。ただし、今回は、第三次計画を検証した上での新たな長期総合計画を作成するという位置づけになる。他都市では「第〇次長期総合計画」という言い方をしている所があるが、本町では、そういう言い方はせず、「長期総合計画」と表記する。
- ・子育て支援事業計画については、この委員会で話し合っていてかまわない。その他の計画等についても、総合計画に反映していく必要があるため、中間的なものでも紹介していただきたい。次回の委員会より早く意見を聞きたい場合には、臨時に委員会を開催してもよいと考えている。

(委員)

- ・どうしてもという理由が無い限りは出席するつもりだが、代理出席を頼んでも大丈夫か。

(委員長)

- ・問題ないと思われる。誰が聞きに来てかまわないし、オブザーバー的な方が出席して意見を言ってもらってもいい。この会議は形式を固定せずに実施していきたいと考えている。

(委員)

- ・中央コンサルタンツに質問したい。Web アンケートの話があったが、高齢者からの意見も集まるのか。

(事務局)

- ・Web アンケートの仕組みから説明すると、インターネット上のWeb アンケート会社に登録している広範囲のモニターに対してスクリーニング調査を行う。西行戻し松公園関連のアンケートを行った際には、高齢者からの回答も多くあったため、問題ないと考えている。

(委員長)

- ・Web アンケートでは、観光振興計画、子ども子育てのアンケートなど、過去に行ったアンケートと重複するような設問はなるべく避けたい。過去のアンケートの意見や意向は本計画に反映していきたい。

(委員)

- ・長期総合計画を身近なものとして紐解けるようにする場合に、第三次の基本計画では具体的な取組みよりも行政の方向性を示している形になっており、行政としてはこの方針に基づき各種の取組みを決めていけるような行政の立場で作成している形になっている。今回は、行政の立場として作っていくのか、それとも町民等が見ても分かりやすいものとするのか。

(委員長)

- ・結論は両方やっていくことになる。町の方向性を示した上で、町民にも分かりやすいものを作っていく。分かりやすいダイジェスト版も作成していく。前回の総合計画では、ダイジェスト版を作ってみたが難しい言葉が多かったと思う。
- ・中央コンサルタンツのプロポーザルの中で評点が良かったものとして、子供向けの総合計画を作る提案があったが、これなどは分かりやすい事例であり、とても良いと思う。

(委員)

- ・将来指標の人口フレームは、現時点で目標値と差が出てきているが、これについては見直すのか。

(委員長)

- ・難しい課題だと思う。私自身、3つの数値を考えているが、どの考え方がコンセンサスを得られるかということは難しい問題であると考えている。3つとは、現況の15000人、15年程前の17000～18000人、あともう一案あるが、自分自身、整理がついていない。この人口フレームと市街化区域の規模(面積)は最も難しいテーマであると考えている。

(委員)

- ・アンケート調査の内容について、観光振興計画のソフト面における成果を確認できるような質問を入れることは可能か。

(委員長)

- ・観光振興計画でアンケートをとっているのですが、今回は観光についての質問は減らそうと考えていたが、そうした意向であれば、ソフト施策に関する質問を入れることは可能であると考えている。アンケート調査の内容については皆さんにも意見をお聞きしたいと思っている。

(委員)

- ・15年間の計画を進めていく中で、中間のアンケート調査のような進捗確認を行う予定はあるか。それに合わせて自分たち各課も施策等の計画を立てられると考えている。

(委員長)

- ・町長の意向でもあるが20年後を見越した中での10年間の計画期間を考えている。アンケートは基本計画が5年間ベースのため、5年後にはアンケート調査を行う予定である。

(委員)

- ・今回の委員会は長期総合計画の策定委員会になっているが、国土利用計画は、長期総合計画をつくりながらその部分を反映して作っていくものなのか。
- ・各種関係委員会の構成メンバーが知りたい。

(委員長)

- ・各種関係委員会メンバーについては、後ほど資料を配布する。
- ・国土利用計画は、長期総合計画の土地利用関連箇所を反映させながら作成する。長期総合計画の土地利用版と考えてほしい。

(委員)

- ・第三次の計画を見てみると5個の章のカテゴリーで構成されているが、この5つの柱も見直すことになるのか。

(委員長)

- ・基本的には見直すことになる。第三次計画を見ていただけると分かる通り、観光などの重要なワードは2章にわたって出てきているが、町長はひとつの章にまとめた方が分かりやすいと言われている。今回はひとつの章にまとめるように検討することを考えている。5つの柱(章の名称)も再検討することになるが、全体的には5つ程度の区分がちょうどいいと考えている。

(事務局)

- ・各種関係委員会のメンバー表は、検討委員会と総合計画審議会のメンバー表でよろしいか。それでは、今から資料を準備し、配布する。

(委員)

- ・子ども版総合計画は面白いと思うが、どのような内容になるのか。小中学生のアンケート結果を反映して作るのか。

(事務局)

- ・子ども版総合計画を作成する背景には、子ども達に町に対する誇りを持ってほしい。また、町をこのようにしたいという考えを持ってほしいというところにある。正直なところ、遊園地を作ってほしいというような、現実に合わないような夢を描かれる可能性も高いと考えている。通常のコピー版のダイジェスト版というような形になるが、タイムカプセル的な要素を含めて、数十年後にはこのようになっているということを掲載するのも良いと考えている。

(委員)

- ・それを子ども達の小学校などに渡すことを考えているのか。

(事務局)

- ・配布する予定である。

(委員長)

- ・小学生向けというのはおもしろい発想だと思う。ただ、子どもからは実現できない意見も多く出ると思う。そのなかで、如何に子ども達の意見を反映していくかが難しいところだと思う。

(委員)

- ・若手プロジェクト会議に関して、参加する年齢層もそうだが、中学生や高校生の代表を入れるという考えはあるか。若い人に混ざってほしいと考えている。

(事務局)

- ・参加者は庁内の職員であれば20代前半と考えている。各商工会などでも二代目となっているような20代の人に混ざってもらいたいと考えている。詳しくはまだ決定していない。

(委員)

- ・個人的には、若手プロジェクト会議に若い人に混ざってほしいと考えている。

(事務局)

- ・若手プロジェクト会議のメンバーについては、今のご意見も踏まえて検討する。

(委員長)

- ・前回の長期総合計画をつくる際の会議に参加してもらっていた若者が、今では町を代表するまちづくりのプレーヤーになっている。ああいった人をたくさん育てていきたいと考えている。そういう意味でもプロジェクト会議はおもしろいと考えている。
- ・他に質問が無いようなら、最後に皆さんから長期総合計画への思いを一言ずつ頂きたい。

(委員)

- ・自分のいる部署の立場からだけでなく、町をどうしていくかという観点を持ちながら、色々な広い考え方のなかで長期総合計画を作っていくたい。

(委員)

- ・長期総合計画を新たに考えていくにあたり、松島に住んでもらえるようにしていくことが最大の目的になると考えているため、魅力ある長期総合計画を作っていくたい。

(委員)

- ・長期総合計画を大きく見直すにあたり、より実現性の高いものを皆さんとともに作成していきたい。

(委員)

- ・松島町役場で行政に携わり始めて二年目で経験は少ないが、松島に住んでいる期間は長いので、町民としての意見を言えればと思う。

(委員)

- ・長期総合計画として10年15年先のことを見据えることはなかなか難しいが、その中で松島にしかない特色を活かしながら、松島の長所を伸ばせるような長期総合計画にしていきたいと思う。

(委員)

- ・松島の将来を担う子ども達一人ひとりのために平等な計画になればいいと考えている。

(委員)

- ・読んでいてワクワクするような、将来像が見えるような計画をつくりたい。

(委員)

- ・作成した職員がいつも机に置いておけるような、また、町民が誇りに思えるような計画にしたいと思う。

(委員)

- ・良い計画を作るのは当然だが、個人的には、自身の勉強の場としても委員会に参加していきたい。

(委員)

- ・町民の声をうまく長期総合計画に生かせるような仕事をしていきたい。

(委員)

- ・個人的には、高齢者よりも将来のある子どもをメインとした計画にしていきたい。

(委員)

- ・個人としては若手の部類に入るが、この場を自身の成長に繋げたい。また、他の課の意見も聞くことで、今後の仕事に役立てていきたいと考えている。

(委員)

- ・観光に携わる立場で参加させていただくが、観光は外部の人を幸せにすることだけではなくて、結果としてまちづくりが光ることで、それが観光に繋がることが一番だと考えている。そういう面を盛り込んでいきたい。また、町民も職員も協働により汗をかくことが重要で、これがあるから松島に住んでいると思えるような計画を作りたい。

(委員長)

- ・最後に、事務局の担当者からも一言ずついただきたい。

(事務局)

- ・松島の将来を決める大きな計画づくりに携われるのは素晴らしいことだと思うので、皆さんと一緒に頑張っていきたいと考えている。

(事務局)

- ・自分の息子も含めて、子ども達が計画期間を迎えたときに笑顔で町内に居られるような計画を作っていきたい。町外に住んでいる職員の方も町内に来て住んでいただけるような計画にしていきたい。

(事務局)

- ・長期総合計画について勉強したことはなく、今回、担当になったことをきっかけに勉強することになったが、これをベースとして様々な施策が生まれるということを考えると、とても重要な計画だと思う。この計画を通して松島と自分の明るい未来を作っていきたいと考えている。

(事務局)

- ・総合計画は、町の血となり骨となり肉となる重要な計画となるが、我々は皆さんが色々な考えを思いつくような支援する立場にいると考えている。誇りと責任感を持って取り組んでいきたい。

(事務局)

- ・最後に副委員長からも挨拶をお願いしたい。

(副委員長)

- ・挨拶ではなく自分の思いを述べさせていただくが、20代30代の人々が絶望しないような計画にしていきたいと思っている。松島町は何をやってもダメだということにならないような計画にしていきたい。

4 閉会

(事務局)

- ・以上で、第1回松島町長期総合計画策定検討庁内委員会を終了する。
- ・次回の庁内委員会は7月2日(水)13:30~を予定する。

(終了)